

平成 27 年度 御 幸 小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

心身ともに健康で、よく考えて判断する力と自主的に行動するたくましい実践力をもち、誠実で思いやりがあり、豊かな心をもった児童の育成を目指す。

- 素直で、思いやりのある子・・・やさしく ○ 自ら考え、進んで学習する子・・・かしこく
- 健康で、ねばり強い子・・・たくましく

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

全職員が、本校で勤務することに誇りと責任をもち、愛と和をもって常に児童・地域とともに歩む姿を模索し、教職員としての資質を高め、家庭や地域社会との相互関係を深めながら、21 世紀をたくましく生きる児童の育成に全力で取り組むこととする。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 豊かな人間性の育成（やさしく）

- 児童一人一人が心のこもったあいさつができ、また、互いを認め合い、生き生きと輝き、社会性に満ちた生活が送れるようにするため、「豊かな心育成全校運動」を推進する。
 - ・ きまりを守る児童を育成するため、校内の目標・規律を設け、教職員が同一歩調で貫く指導を展開する。
 - ・ いじめを絶対許さない態度の育成に全校で努める。
 - ・ 自分の気持ちをしっかりと伝えることができるようになるための豊かな表現力を育てる指導を行う。
 - ・ 動植物を大切に育て、心の優しさを持てるようにする。

(2) 確かな学力の向上（かしこく）

- ・ 基礎・基本を重視し、確かな学力の定着を図るため「チャレンジ学習全校運動」を推進し、めあてに向かって全力で取り組む児童を育成する。
- ・ 積極的な表現力の育成を図る。
- ・ 読書全校運動を推進し、本好きな子を育成する。
- 保護者の理解や協力を得ながら、基本的な学習習慣づくりや家庭学習の充実を図る。

(3) 健康で安全な生活（たくましく）

- ・ 健康への意識向上を図るため「元気っ子活動全校運動」を推進する。
- ・ 健康で安全な生活を営むため、よりよい生活習慣づくりを強化し、家庭との連携を図る。
- ・ 運動の奨励を図り、体力・技能の向上を目指す。
- ・ 朝食の徹底、お弁当の日の有効活用など食育を推進し、食を大切にする心を育てる。
- ・ 地域や関係機関の協力を得て、児童の安全確保に万全を期する。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

【テーマ】自立 ～よりよい判断をし、学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・ 地域との絆を深め、地域人材の支援を得て、体験活動を重視して、未来に向かって力強く頑張ろうとする意欲に満ちた児童を育成する活動を展開する。

【学 習 指 導】

- 授業における子ども同士の学び合いを通し、積極的な表現力の育成を行う。
- 家庭の協力も得て、めあてに向かって自分から学習に取り組めるようにする。

【道徳教育（児童生徒指導）】

- 思いやりと優しさを持って行動し、互いを認め合うと共に、豊かな表現力により自分の考えを伝え自己有用感をしっかりと持つ。

【健康（保健安全・食育）・体力】

- 運動や健康に関心を持ち、自ら進んで健康力を高めていこうとする。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、今の学校が好きである」⇒児童の肯定的回答 90%以上 全体アンケートの「学校全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① ゆとりある充実した学校をめざし、年間行事計画や学校行事計画の適正な実施と改善に努める。 ② 互いのよさを認め合い、高め合う学級集団づくりを推進する。 ・Q-U 調査を活用した個別指導の充実、エンカウンターでの学級づくりの推進 ・わくわくタイムでのクラス共遊、縦割り共遊の活性化		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上 「教員は協力し、児童のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している」⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① ねらいを明確にしたわかる授業をめざし、指導法や学習形態の工夫・改善に努める。 ② 学習指導や児童指導に対して全教職員の共通理解を図り、一人一人の子どものニーズに合った指導・支援を推進する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 「みゆきよい子の一日」を全学級の教室に掲示し、保護者に配付することで、家庭との連携を図りながら、決まりやマナーの徹底に努める。 ② 全学級において、学級目標の達成を目指し、具体的な手立てを講じ、実行することで、秩序あるより良い集団作りに努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 教材研究を共有し、予測されるつまづきへの支援の手立てを工夫して、きめ細やかな指導の実践に努める。 ② 新学習指導要領を踏まえ、言語活動の充実を図り、主体的に学ぶ態度や基礎・基本の定着に努める。 ③ 学習の基盤となる<u>認め合い、高め合う学級集団づくり</u>をめざして、学び合う態度やスキルの育成に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生は、いじめがいけないことをしっかり教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。」⇒教職員、保護者の肯定的回答 80%以上	① 全クラスにおいて、「いじめゼロ標語」を作成し、掲示することで、いじめを許さない意識を高める。 ② 児童対象のいじめ調査を定期的の実施し、教員間の情報交換を積極的に行うことで、いじめの早期発見、早期解決に努める。 ③ 「学校だより」などの通知に、いじめ防止に関する取組についての内容を掲載することで、保護者や地域に向けての情報発信を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 学校行事や学年行事等は、実施後そのつど評価し、改善すべき点について検討して、次年度の計画に生かすようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している。」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 85%以上	① 土曜授業(年間 2 回)や授業参観(年間 3 回)を実施したり、学校行事等への積極的な参加を呼びかけたりして、地域や保護者に教育活動を積極的に公開する。 ② 学校だより、学年・学級だよりなど各種たよりを定期的に発行したり、ホームページの更新などを随時行ったりしながら、地域や保護者に学校の様子を知らせていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」⇒保護者の肯定的回答 80%以上 【数値目標】 出前授業・地域人材活用の授業を各学年 1 回以上実施した。	① 地域協議会の協力を得て、地域の教育力を取り入れ、特色ある学校経営の充実を図る。 ② 企業による専門家出前授業や地域人材を活用した授業を各学年 1 回以上実施する。 ③ 地域の教育力をさらに活用できるように、支援ボランティアの確保や地域人材の発掘に努め、体験活動の拡充を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況	生 活	A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は荷物や備品が整理整頓されるなど学習にふさわしい環境である。」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 季節感や児童の成長・学習の成果が見える掲示物を工夫したり、清掃指導の充実や校内緑化の推進を図ったりするなど、よりよい環境づくりに努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
		B 1 学校全体で読書活動を積極的に推進している 【数値指標】 全体アンケートの「児童は様々なジャンルの本を楽しみながら読んでいる。」⇒児童の肯定的回答 80%以上 【数値目標】 1人当たりの1か月の読書量⇒低学年 20冊以上、中学年 15冊以上、高学年 10冊以上	① 月・金の朝の時間の図書の貸し出し(全学年)、出張図書室(下学年)や休み時間の開架(上学年)、読書まつりなどを通して、読書量の増加を図る。 ② 読書カードの活用や学年により、図書館だより等での呼びかけで、家庭での読書を進めていく。さらに、読書カードの利用の多い児童に対して、しおり等で奨励し、読書に対する関心を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童(生徒)は、あいさつをしている。」⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 児童会と地域で連携した「あいさつ運動」を推進し、あいさつに対する意識向上を目指す。 ② 全学級で、長期休業明けに、あいさつに関するロールプレイングを実施し、あいさつが自然にできる態度を養う。 ③ 「あいさつ強化月間」を設け、児童会からあいさつに対する呼びかけを行うとともに、生活目標を活用し、学校全体であいさつに対する指導を一貫して行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。」⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 全職員の共通理解のもと、時と場に応じた言葉づかいの一貫した指導に努めるとともに、通知や懇談会等を通して家庭との連携を図りながら、習慣化を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】

		B 2 集団生活の中で教師や友達の話に耳を傾け、気持ちを集中させることができる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、朝会や集会等、教師や友達の話に耳を傾け、しっかりと聞いている。」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 毎日の授業や集会を通して、「時間を守る」「人の話をしっかり聞く」などの態度が十分身につくように、全職員の共通理解のもと、一貫した指導を繰り返し行っていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している。」⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 水泳検定や縄跳び検定の実施、元気っ子活動全校運動（縦割り班共遊・児童会活動・長縄跳び大会等）の実施により、運動への意欲を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、好き嫌いなく給食(食事)を食べている。」⇒児童の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 月 1 回の食育だよりの発行、お弁当の日の事前の計画と事後の振り返りの実施等により、食育や健康に対する児童や家庭の意識の高揚を図る。 ② 給食指導について、各学年で共通理解を図る。 ③ ランチルーム利用時には、栄養職員が栄養指導を行うことで、児童の意識の高揚を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
		B 3 学校は、児童の安全な登下校の実施に取り組んでいる 【数値指標】 全体アンケート「学校は児童の安全な登下校の実施に努めている。」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 登下校時の安全を確保するため、月 1 回の登校指導、学年での集団下校の実践に取り組むとともに、学年朝会や帰りの会等でも随時指導する。また、懇談会の際に保護者に協力を依頼したり、地域協議会を通して、地域の協力も得られるようにしたりしていく。 ② 一斉下校時に、割り当てになっている学年が巡回を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	学 習	A 14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童（生徒）は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している。」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 授業ではペアやグループ、一斉などねらいに応じた適切な学習形態での学びあいの場を設定する。 ② 話し方や聞き方のポイントを教室に掲示したり、話し合いのルールを発達段階に応じて設定して日々の授業に活用したりして、進んで話し合うことができるようにしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 年2回(6・10月)学習強化月間を設け、<u>学習習慣定着への取り組みを中心に「相手を見て最後までよく聞き考える」態度の育成を図る。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
	B4 漢字や計算チャレンジに積極的に取り組んでいる 【数値指標】 全体アンケート「児童は、漢字や計算チャレンジに積極的に取り組んでいる。」⇒児童の肯定的回答 80%以上 【数値目標】 ⇒合格者(80点以上)が70%以上	① 漢字・計算において、年間3回のチャレンジテストを実施し、基礎・基本の定着を図る。 ② 毎週2回(火・木の朝)ぐんぐんタイムを実施し、国語と算数の基礎・基本の定着を図る。 ③ チャレンジテストに向けて、目標をもって家庭学習に取り組めるようにする。 ④ 懇談会、学年・学級だよりにより家庭学習の啓発を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B5 本校の児童の実態や地域の実態を踏まえて、特色ある学校づくりを積極的に推進している。 【数値指標】 全体アンケートの「学校はあいさつ運動やチャレンジ学習、体力づくり等の特色ある学校づくりを積極的に推進している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 3つの全校運動(豊かな心育成全校運動、チャレンジ学習全校運動、元気っ子活動全校運動)の積極的な推進により「生き生きと輝き、たくましく、共に生きる力を育む子」の育成に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。